

社会的養護関係予算（平成25年度、平成26年度（案））

資料 2

予算額 24年度 941億円 → 25年度 967億円 → 26年度(案) 1,031億円
(対前年度) (26億円増) (64億円増)

うち、児童入所施設措置費

24年度 893億円 → 25年度 908億円 → 26年度(案) 959億円
(対前年度) (15億円増) (51億円増)

平成25年度

1. 特に対応が困難な母子が4人以上いる場合に母子支援員(非常勤)を配置しているが、支援の充実を図るため、8人以上いる場合に2人目を配置。
2. 入所児童等の自立支援の充実を図るため、中卒・高校中退等児童を資格取得等特別加算(@55,000円)の対象に追加。
3. 安心こども基金で行ってきた①児童養護施設等の職員の資質向上のための研修事業、②児童養護施設の退所者等の就業支援事業を当初予算で実施。

平成26年度

1. 地域の中でより家庭的な環境で養育することができるよう、小規模グループケア、グループホーム等を実施。
 - ①小規模グループケア 743か所 → 1,059か所(対前年度316か所増)
 - ②地域小規模児童養護施設 240か所 → 293か所(" 53か所増)
 - ③賃借対象施設(月10万円) 76か所 → 144か所(" 68か所増)
2. 入所児童等の心理的ケアの充実を図るため、心理療法担当職員を配置。
心理療法担当職員 449か所 → 743か所(対前年度294か所増)
3. 社会的養護を担う人材の確保のため、
 - ①学生の施設実習時に実習を指導する職員の代替職員を雇用。
 - ②学生の就職を促進するため、施設実習後の学生を非常勤職員として雇用。
4. 児童養護施設等の耐震化等に要する費用を補助。